

堺市小学校連合運動会ボランティア活動



DATA

主な連携先・メンバー

堺市教育委員会/堺市初等教育研究会体育部会/堺市立小学校長会/関西 大学教職支援センター 教職アドバイザー 北井宏昌

■活動地域

大阪府堺市/関西大学堺キャンパス

- 活動期間 2019年度
- ■活動資金

堺市と関西大学との地域連携事業

活動の目的

- 学校教育におけるスポーツ大会の運営方法を学び、学生本人が教育の 現場で指導者となった際の具体的な知見を得る
- 2 学生の活力を地域に活かすことで、学生に日頃の取組みが地域活性化 に繋がるということを認識させる



連携にいたる経緯

長く競技スポーツに取り組み教職課程を履修する学生にとって、学校教育におけるスポーツ 大会の企画や運営参画への意識は高い。本市で68回続く堺市小学校連合運動会を主催する 小学校長会より、安全で正確な記録測定をめざす運営のために依頼があり、本学学生のボラン ティア参加による連携が実現した。



活動内容

堺市で毎年開催している「堺市立小学校連合運動会」に、企画部運営スタッフとして本学人間健 康学部の学生を派遣。まず、堺市立全小学校を対象とした全体説明会に参加し、趣旨、実施要項、 各種目の実施方法について運営委員からの説明を受け、その後事前のオリエンテーションで、連合 運動会部長よりこれまでの歴史や意義、ボランティア学生に期待する活動等をお聞ききするととも に、取組みの詳細について具体案を話し合った。連合運動会当日は、児童招集補助や、各種目の 測定補助と整地、救護係の補助業務などを担当。主催者の担当校長や初研体育部員から、本学 学生の活動内容や取り組む姿勢について、多くの称賛と感謝の言葉をかけていただいた。







口活動の成果

- 1 児童約4,000人が一堂に会する競技大会の運営・実施に関わり、 真剣に活動する児童の姿や仲間を応援する態度に接し、学校 体育のもつ魅力やスポーツ競技大会の意義を深く理解するこ とができた
- 2 学校体育におけるスポーツ競技会の実施にあたり、綿密な 運営計画と周到な準備の大切さや、教員が機敏に役割に取り 組む姿勢と突発的な事態に対する対応策を学ぶことができた

Q今後の課題・目標

参加学生が自分の得意とする技能を生かし、より 積極的に活動に取り組むために、それぞれがもつ技能に 応じて、希望する活動を担当できるように役割分担 する

教 | 員 | 紹 | 介



■人間健康学部 教授

専門は運動生理学、運動処方。運動生理学の知識をベースに、唄って踊れるエンターテイナーな 運動指導者を育てることが夢。学生達と一緒に地域の健康づくり活動に貢献したいと思って いる。

弘 原 海 剛

Tsuvoshi Wadazumi